

DX推進への取組



ワンコールがすべての認証をセキュアに



着信認証

ONE CALL SECURES ALL AUTHENTICATION



OSTIARIES


当社は「すべてのインターネットユーザーに安全で快適なサービスを提供する」というビジョン掲げ、世界の人々がユニークに保有している電話番号を活用した本人認証システム「着信認証クラウドサービス」をはじめとするサイバーセキュリティサービスを展開しています。

あらゆるサービスがデジタルでつながる現代では「正しい人が、シンプルにアクセスできる」ことは、DX推進に必須となる本人認証において非常に重要な要素となります。

DXサービスの拡がりや効率的な企業活動に貢献する一方、あらゆる業務に浸透することによる本人認証の複雑化を引き起こし、セキュリティ課題が生じることに繋がっていきます。

当社は自社の積極的なDX推進による持続的成長を目指すとともに、多くの企業が取り組むDX推進をセキュリティ面から支援してまいります。

代表取締役 大野祐治



DX推進の方向性

新型コロナ禍以降、業界を問わず不正アクセス事例が顕在化し続けており、企業活動に大きなリスクをもたらしています。当社はこれらの脅威に対策が必要とされる企業へ、迅速に自社サービスの訴求を可能とするマーケティングプロセスの最適化、社内間コミュニケーションツールから迅速な自社サービス、業務プロセスの改善を推進しております。

当社ビジョンである「すべてのインターネットユーザーに安全で快適なサービスを提供する」を実現するため、この2つの取り組みを当社におけるDX推進の柱として位置付けております。

デジタル技術による営業業務の効率化

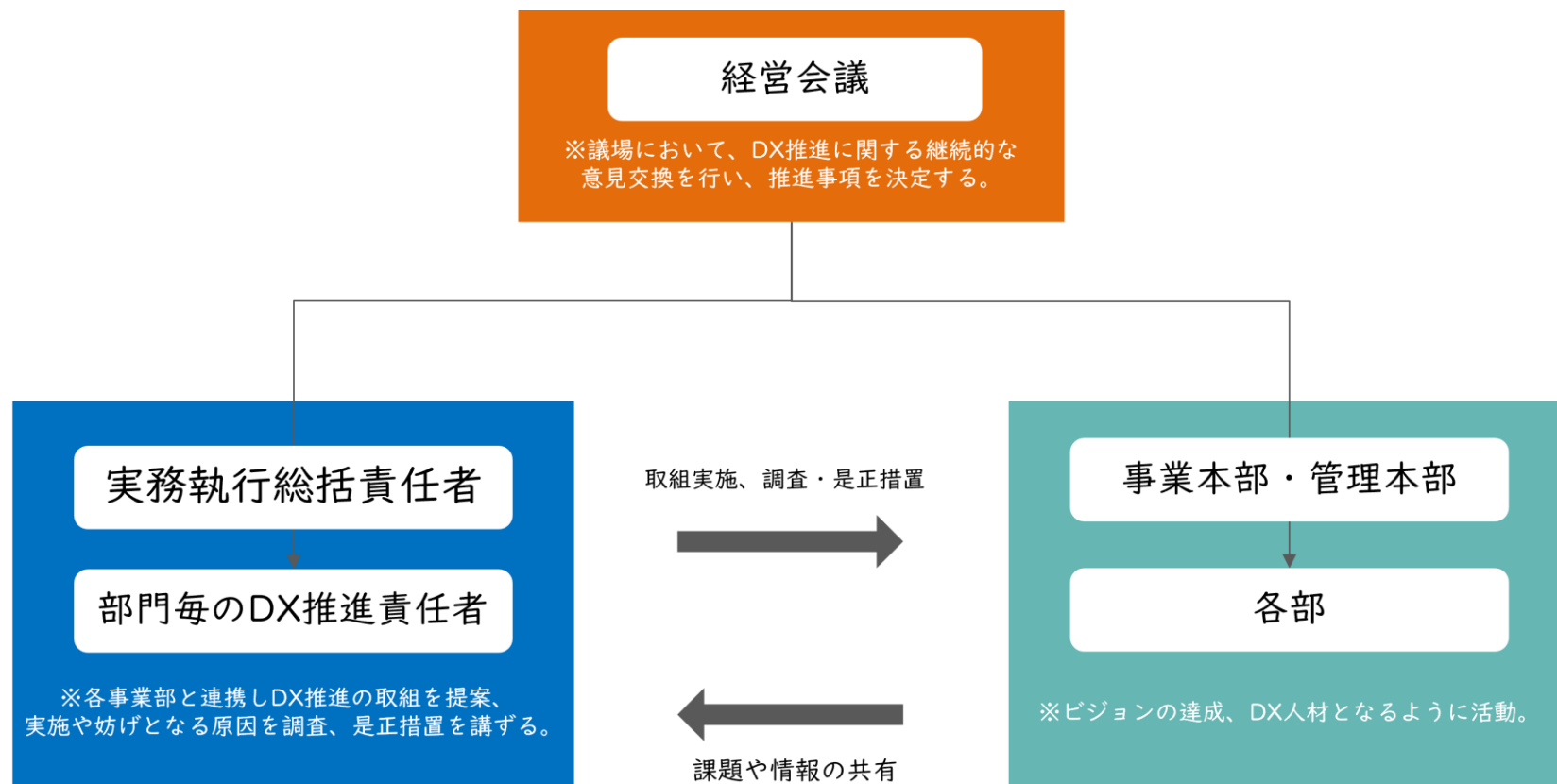
事業を支える環境整備

■ デジタルガバナンスコード3.0のDX定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

DX推進体制

当社はDX戦略を実現するため、管掌事業や担当業務を越え、横断的な組織編成を重視した「DX推進プロジェクト」を設置致しました。実務執行総括責任者を取締役が務め、プロジェクトと社内組織が連携し、DX戦略を実施して参ります。



DX戦略

デジタル技術による営業業務の効率化

当社はグループウェアやマーケティングオートメーション（MA）ツールを活用し、リード管理および営業活動の効率化を推進していきます。営業活動の進捗をリアルタイムに把握し、過去データ分析をもとに、各リードに最適な内容・タイミングで有益な情報の共有、アプローチができる体制を整備しました。

具体的には、リードの一元管理や、期日管理に基づく自動リマインド機能を導入することで、営業担当者が本来注力すべき顧客対応に集中できる環境を構築しています。

さらに、AIの活用により資料作成等の作業時間を短縮し、商談から成約までの期間短縮と売上向上につなげています。今後も、AIやクラウドツールの活用範囲を拡大し、営業活動の生産性を継続的に高めることで、当社のDX推進を強固なものとしていきます。

■活用サービス

- ・グループウェアの導入
- ・MAツールの導入
- ・ChatGPTやGemini といったAIツールの活用
- ・外部企業との協力、デジタルマーケティングによる営業活動の強化

DX戦略

事業を支える環境整備

当社は事業基盤を安定的に維持・発展させるため、クラウド型の業務支援ツールやコミュニケーションツールの導入を進め、業務効率化と生産性向上を実現しています。これらのツールを通じて蓄積される業務データを活用し、部門横断での情報共有や業務プロセスの改善につなげています。

また、役職や部署を超えた横断的な情報共有体制を整備し、データ分析に基づく意思決定を可能とすることで、迅速かつ的確な経営判断を支える仕組みを構築しています。さらに、顧客利用データや市場動向データを収集・分析し、自社クラウドサービスの改善や新サービスの企画に反映させることで、競争力強化を図っています。

加えて、DXを継続的に推進する基盤として、データ活用スキルを備えたDX人材の育成や、従業員全体のデジタルリテラシー向上に取り組むことで、組織全体の対応力を強化しています。これにより、当社は自社クラウドサービスを安定的かつ迅速に提供し、顧客や社会に対して安全で信頼性の高いサービスを持続的に届けられる体制を確立してまいります。

■活用サービス

- ・WEB会議システムや社内Chatシステムの導入
- ・出退勤記録管理、クラウド労働時間管理システムの導入
- ・クラウド管理型ワークフローシステムの導入
- ・プロジェクト管理ツールの導入
- ・社外の専門家による勉強会を開催し、最先端の知識や技術を学べる機会を提供

DX推進における指標と課題の把握

■指標（2028年の達成目標）

- ・ デジタルマーケティングを利用した新規顧客の獲得率と成約率の向上
- ・ クラウドサービスを利用した作業時間の削減
- ・ AIエンジニアやデータアナリストの育成及び獲得



END



OSTIARIES

END